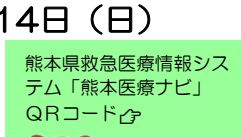




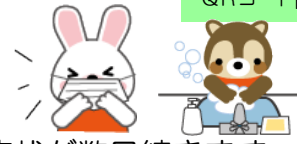
令和3年(2021年)第6週 2021年2月8日(月)~2021年2月14日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●RSウイルス感染症が増加中です!!

RSウイルス感染症が今年に入り徐々に増加しており引き続き注意が必要です。(第2週、3週でも取り上げています。あわせてご覧ください。)



◆どんな病気?

通常RSウイルスに感染してから2~8日の潜伏期間を経て発熱、鼻水などの症状が数日続きます。初感染乳幼児の約7割は、鼻水などの上気道炎症状のみで数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、喘鳴(ゼイゼイ、ヒューヒューという呼吸音)、呼吸困難症状などが出現します。重篤な合併症として注意するものには、無呼吸発作、急性脳症等があります。生後1か月未満の赤ちゃんがRSウイルスに感染した場合は、通常とは違う症状になるために診断が困難な場合があり、また突然死に繋がる無呼吸発作を起こすことがあります。感染によって重症化するリスクの高い基礎疾患を持つ小児や、生後3ヶ月以内の乳幼児への感染には特に注意が必要です。

RSウイルスは生涯にわたって感染を繰り返し、幼児期における再感染での発症はよくみられ、その多くは軽い症状です。成人では通常は感冒様症状のみですが、RSウイルスに感染した子どもを看護する保護者や医療スタッフでは、一度に大量のウイルスに曝露(ばくろ)して感染することによって、症状が重くなる場合があります。また、RSウイルスは高齢者も急性の重症の下気道炎を起こす原因となることが知られていて、特に長期療養施設内での集団発生が問題となる場合があります。

◆予防法や対策は?

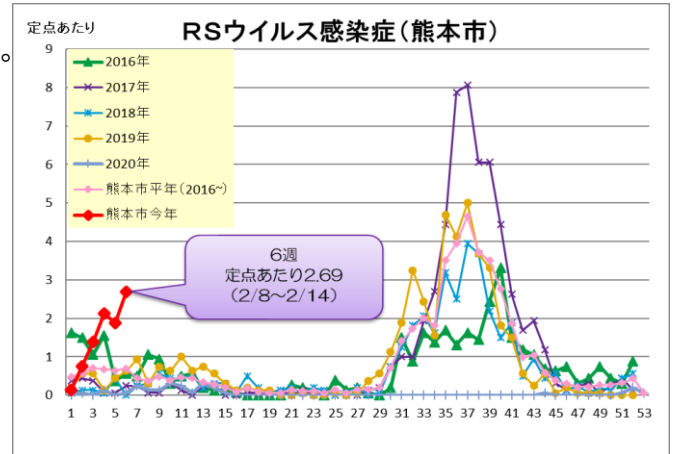
感染経路は飛沫感染と接触感染で、発症の中心は0歳児と1歳児です。マスク着用などの咳エチケット、共用部分のアルコールや塩素系での消毒、流水、石けんによる手洗い、アルコール製剤による手指衛生を励行しましょう。

◆お子さんの状態をしっかりと観察しましょう!

お子さんの様子がいつもと違う時はかかりつけ医に連絡し、早めに受診しましょう。日本小児科学会ホームページ「救急にかかる前に!」では、症状をチェックしたり、近くの医療機関を探すことが出来るので、お気に入りの登録しておくことをおすすめします。



日本小児科学会
「救急にかかる前に!」
QRコード



期 間		2021年 5週		2021年 6週	
		2/1~2/7		2/8~2/14 (最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	注意!! ➡	30	1.88	43	2.69
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	4	0.25	3	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	11	0.69	5	0.31
感染性胃腸炎	注意!! ➡	45	2.81	37	2.31
水痘(みずぼうそう)	➡	2	0.13	3	0.19
手足口病	➡	3	0.19	0	0.00
伝染性紅斑(りんご病)	➡	1	0.06	0	0.00
突発性発しん	➡	14	0.88	8	0.50
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	1	0.06
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	5	1.00	1	0.20
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	➡	1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00